

皆さん、おはようございます。

長い夏休みが終わり、今日、皆さんの元気な姿を見ることができ、大変うれしく思います。夏休み中には、部活動に励んだ人、進路実現に向けて学習に取り組んだ人、家庭や地域でさまざまな経験を積んだ人など、それぞれが有意義な時間を過ごしたことと思います。

さて、2学期は一年の中で最も長く、そして最も大きく成長できる学期です。笠高祭や収穫感謝祭をはじめとする学校行事、日々の授業、部活動、生徒会活動、そして進路に向けた取組など、一人一人が自分の力を試し、仲間と協力しながら歩みを進める機会が数多くあります。3年生にとっては進路実現に向けた重要な時期であり、1・2年生にとっても次の学年や将来につながる土台を築く大切な時期です。

私が皆さんに2学期を始めるにあたり大切にしてほしいと思うことは、「臆することなく挑戦すること」です。

私自身、この夏、日本最難関ルートといわれる穂高連峰縦走登山に挑戦しました。なかでも特に印象に残ったのが西穂高岳から奥穂高岳の間にあるジャンダルムへの挑戦です。険しい岩稜帯を進むため、一步一步慎重に足場を確かめながら歩かなければなりませんでした。緊張の連続でしたが、その先には大きな達成感が待っていました。

また、この挑戦を通して、自然の厳しさと偉大さを改めて実感しました。同時に、歩を進めることでしか見ることのできない景色があることも学びました。登り始めたときには見えなかった山々や谷、遠くの稜線が、高度を上げるにつれて次々と視界に広がっていったのです。

私はその時、挑戦することで視野が広がり、これまで見えなかったものが見えるようになることを強く感じました。そして、その気づきこそが人を成長させるのだと思いました。

これは皆さんの学校生活にも通じることです。新しい学習に取り組むこと、人前で発表すること、部活動で高い目標に挑戦すること、あるいは進路実現に向けて努力すること。その一歩を踏み出すときには、不安や戸惑いを感じることもあるでしょう。しかし、臆せず挑戦を続けることで、自分でも気付かなかった可能性や新しい世界が見えてきます。

この夏、三豊市と地元企業である「味のちぬや」の協力のもと、新しく北海道インターンシップ型収穫体験プログラムを始めました。6名の生徒が挑戦し、5泊6日、共同生活を送り、企業や道立農業大学校、三豊市職員の皆様方のご支援のもと、北海道の農業と食を学ぶことができました。学校としても新しいチャレンジであったと同時に、参加した生徒にとっても未知なる世界への挑戦で、それぞれに学びがあったと思います。

失敗を恐れず挑戦すること。そして、挑戦を通して自らの視野を広げること。その積み重ねが皆さんを大きく成長させます。

挑戦の先にこそ、新たな景色があります。2 学期が、皆さん一人一人にとって新しい景色を発見し、自らの成長を実感できる学期となることを期待しています。

ともに充実した 2 学期をつくっていきましょう。

以上で、2 学期始業式の式辞とします。